

令和元年9月5日
文教民生常任委員会
委員長 村岡栄紀

「民生委員・児童委員」との課題懇談会
－高齢者ひとり暮らし世帯の現状と問題点－

と き：令和元年8月5日 15：45～17：15

ところ：西脇市総合福祉センター萩ヶ瀬会館2F

参加者：民生委員・児童委員 村上昌紘会長 他8名
文教民生常任委員会
村岡栄紀 吉井敏恭 東野敏弘 岡崎義樹 中川正則

傍 聴：細川喜美博（福祉部長）
伊藤景香（社会福祉課長）
正木万貴子（社会福祉課長補佐）他

目 的：文教民生常任委員会では、平成30年度に事務事業評価項目として「高齢者見守りサポート事業」について調査・研究を行いました。その一環として、「高齢者宅の訪問」や「困りごと相談」など、地域の身近な相談相手として、必要な支援を続ける民生委員・児童委員と意見交換（活動の状況、課題、問題点、抱える悩みなど）を実施することにより、「高齢者見守りサポート事業」の意義や是非とともに、民生委員・児童委員の今後の活動のあり方について検討をすることを目的とします。

高齢者ひとり暮らし世帯の現状と問題点について

(議員)

- ・高齢者夫婦や高齢者の一人暮らしの方が増えていますが、民生委員として関わる中で
の悩みや課題、問題点を聞きたいです。

(民生委員・児童委員)

- ・夏期友愛訪問に回りました。その際に呼び鈴を鳴らしても、テレビの音は大音量で聞
こえるのですが、出てこない方が18件中5件ありました。玄関先から携帯電話で電話
を掛けたところ、ようやく出てこられ、安否確認ができました。テレビの音が大き
すぎて、呼び鈴が聞こえないようです。
- ・皆さん、出会ったときにはいろいろと話をさせていただきます。

(議員)

- ・一人暮らしで人と話す機会がない、消費者トラブルに巻き込まれるなど、そういった
ことはないですか。

(民生委員・児童委員)

- ・高齢者の方が振り込み詐欺に遭いかけて、200万円を振り込む直前に郵便局で止めた
ケースがあります。その方は3回そういった電話を受け、3回目の着信時に偶然私（
民生委員）が居合わせたのですが、すぐに駐在所に連絡し、警察官に電話の対応をし
てもらいました。その後、電話は掛かってこなくなりました。3回とも未遂に終わり
ましたが、狙われやすい方っているようですね。

(議員)

- ・電話をすぐに取りらずに、留守電の機能を覚えて使われると有効だと思うのですが。

(民生委員・児童委員)

- ・留守電の機能に関しては、なかなか使いこなせない方が多いですね。

(議員)

- ・この人は騙しやすいというデータが出回っているのかもしれませんが。
- ・何とか未然に防げればと思います。

(議員)

- ・ところで、オートロックで困られたことはありませんか。

(民生委員・児童委員)

- ・田舎なのでそういうケースはありませんが、耳が聴こえにくくて、1回で事が済むことはあまりないですね。部屋を開けるとテレビが大音量で点いています。
- ・一人暮らしの方は、食事の用意など、自分で何でもしなければならぬので、生活に関することはしっかりされています。
- ・福祉票の見直しなどの会話はしっかりできるのですが、認知症に伴う物忘れなどの影響で、半分も記入されていないことがあります。そういった方は自身がいる場で記入してもらおうようにしなければと思います。このように、普通に会話はできるのですが、時間が経つと忘れてしまう方が結構います。
- ・インターネットで食材を注文されるので、外出されるのが月2回程度の方もいます。
(散髪・美容院など)
- ・すぐに救急車を呼んでしまう方もいます。

(議員)

- ・地区によって、民生委員1人が担当する人数などの差はありますか。

(民生委員・児童委員)

- ・もちろん地域差はあります。
- ・(担当人数の少ない地域の方) 私の担当する地域は見守りの必要のある高齢者の方が4人しかいないので、たいてい出会うことができます。

(議員)

- ・男性の民生委員が女性宅を訪問することはあるのでしょうか。その場合、男性の民生委員には、話しにくいといったことはありませんか。

(民生委員・児童委員)

- ・男性の民生委員が女性宅を訪問するケースはあります。
- ・(女性の民生委員) 女性だから頼みやすいと言われます。特に女性の高齢者の方は、困り事や悩み相談などに関しては、男性の民生委員には頼みにくい傾向があると思います。
- ・(男性の民生委員) たしかに男性の民生委員が訪問することに抵抗がある人はいます。逆に男性宅に女性の民生委員が訪問すると喜ばれます。(笑)

(民生委員・児童委員)

- ・2025年には、今よりも一人暮らしの高齢者の数も増え、高齢者夫婦世帯で夫婦の年齢を合計すると150歳以上になる世帯も増えてきます。そのような時代に、どのように対応すればよいのか。今でも担当者数が少ない地区は1人で50世帯、多い地区は2人で350世帯といった対応をしていますが、今後ますます地域差が拡大していくことを懸念しています。

(議員)

- ・たしかに、1人当たりの担当業務量の多寡はありますね。これからどんどん高齢化が進めば、3人体制でも手が回らないのではないかと心配しています。

(議員)

- ・現在、協力員体制を採られています。それ以外で、例えば女性会や地域の方たちによる協力体制はあるのでしょうか。

(民生委員・児童委員)

- ・地域の行事などの際はありますが、通常時の見守りなどの協力はありません。
- ・協力員に関しては、お弁当の配達くらいですね。あと、紛失されたものを一緒に探してもらおうとか。

(議員)

- ・昔なら、近所の方のサポートがあり、勝手に知っている家であれば、遠慮なく入ったりしていましたが、今はそんなこと到底できませんね。

(民生委員・児童委員)

- ・そのとおりです。しかも、呼んでもなかなか出てこず、時間がかかります。
- ・鍵はかかっているけれど、電気を消し忘れて親戚の家に行かれていた、というケースもありました。

(議員)

- ・ペットについてはどうですか。

(民生委員・児童委員)

- ・ほとんど飼われていません。

(民生委員・児童委員)

- ・耳が聴こえにくいのと、認知症の方が多いですね。
- ・認知症で物忘れがあり、福祉票が書けず、進行している方だと、私（民生委員）のことが誰だかわからない方もいます。そのような場合は、地域包括支援センターに紹介しています。
- ・認知症が進んでいる方の福祉票などは、家族やヘルパーの方に来てもらって、書いてもらうことがあります。そういったケースに関しては、ケアマネージャーなどの専門家に任せるようにしています。

(議員)

- ・地域包括支援センターにつなぐことも多いようですね。

(民生委員・児童委員)

- ・そうですね、民生委員は専門家ではないので、つなぎとしての役割を果たしています。

(議員)

- ・民生委員が、高齢者の方の認知症を発見するケースはありますか。

(民生委員・児童委員)

- ・結構あります。

(議員)

- ・見守り活動等を通じて、家族の方は協力的ですか。家族によって差があり、心配な方はいますか。

(民生委員・児童委員)

- ・やはり家族の協力が一番大事ですね。最終的には高齢者の方を家族が引き取られるケースもあります。
- ・田舎の良いところで、義理の親戚の方が面倒を見るなど、つながりはあり、孤立している方はあまりいません。近所の方などが情報を提供してくれるので、田舎での孤立は少ないと思います。

(議員)

- ・民生委員の仕事は、相談等を関係機関につなぐことですが、場合によっては、相談したくてもできないとか、つなぎ方がわからないという悩みなどはありませんか。

(民生委員・児童委員)

- ・そういった場合は、市の社会福祉課に相談するようにしています。いつでも職員は丁寧に相談に乗ってくれます。
- ・定期的に開催している民生委員同士の悩み相談がすごく役に立っています。
- ・地区ごとの集会在り、全員が出席しています。

(議員)

- ・後任を見つけるのが大変なのではないですか。

(民生委員・児童委員)

- ・すごく大変です。
- ・困っています。

(議員)

- ・福祉票などの情報は、区長には話せるのですか。

(民生委員・児童委員)

- ・できません。ただし、防災計画作成などで必要な場合は、当事者の同意を得た上で提出してもよくなりました。
- ・福祉票に関しては、提出を拒まれる方もいます。
- ・地区防災計画において、民生委員の役割が明確かつ重要になると聞いています。

(議員)

- ・話を聞いていると、一人暮らしの高齢者の方は、現状の生活に満足されている方が多いように感じましたが。

(民生委員・児童委員)

- ・週1回病院に通っているから大丈夫などと言うような元気な方が多いですね。
- ・いろいろなところに出かける方は元気ですね。急に見なくなったりしたら心配です。

(議員)

- ・「高齢者見守りサポートサービス」の申込みが約200人と少ないですが。

(民生委員・児童委員)

- ・私の地区は30人中2人の利用だけです。

- ・一度依頼に回っただけで、再度依頼に回れば増えるかもしれません。
- ・見守りにわざわざ来てもらうのが申し訳ないと、遠慮される方が多いです。
- ・いつ来られるかわからず、畑に行っていて不在にしていると申し訳ないという人も。
- ・利用者の中には、すごく役に立っていると言う方もいます。

(議員)

- ・民生委員・児童委員の皆さんには、高齢者の方が直面されている課題や問題点に関し、多くの貴重な話を聞かせていただき、大変参考になりました。2度にわたる懇談会で出された意見等を、チーム議会としてしっかりと受け止め、政策提案等を通じて市政に反映できるよう、努力して参る所存ですので、今後ともどうかよろしく申し上げます。